

## 2014 年度 センター試験 倫理・政経(本試験) ワンポイント解説

第1問	<p>倫理分野・リード文は「倫理」の第1問と同一で、設問は第1問からの抜粋。</p> <p>問1 倫理01と同一。片山潜は、キリスト教的社会主義者で、議会制に基づく社会主義や普通選挙を唱え、コミンテルンにも参加した。</p> <p>問2 倫理03と同一。(ア) エリクソンは、自分が何なのかわからずに生きている実感を抱けない状態をアイデンティティの危機〔自我同一性の拡散〕と呼んだ。(イ) オルポートは、自己意識の拡大・他者との暖かい人間関係・情緒的安定と自己受容・現実認知・自己客観視・人生観などを成熟したパーソナリティの特徴と考えた。(ウ) マズローは、欲求階層説を唱え、欲求は〔生理的欲求→安全の欲求→所属・愛情の欲求→承認・自尊心への欲求→自己実現欲求〕の順序に発展する、と主張した。</p> <p>問3 倫理04と同一。引用文の読み取り問題である。センからの引用文には、国際企業が民主国家よりも独裁国家での活動を好むのは公正な発展の後戻りであるとしており、ゆえに民主主義の確立が重要となる。また、識字率の低さの改善よりも経営者などの便宜が優先されていると批判しているので、教育の拡充の必要性が主張されている。</p> <p>問4 倫理06と同一。サン＝シモンは空想的社会主義者である(コントは、人間の知識は〔神学→形而上学→実証主義〕へと発展するという「三段階の法則」を唱えた)。フェビアン協会とベルンシュタインは、ともに武力革命を否定して議会制に基づいた漸進的社会改革を唱えた。</p> <p>問5 倫理08と同一。①レヴィンの境界人(マージナル=マン)は、児童期と成人期の間にある青年を指す。②シュプラングァーは、人間を追求する価値によって理論型・経済型・審美型・社会型・政治型(権力型)・宗教型の6つに分けた。人間を内向型と外向型に二分したのはユングである。③抑圧や退行などは防衛機制であり、これらが原因となって心の安定を乱すのではなくて、心の安定を取り戻すのである。</p>
第2問	<p>倫理分野・リード文は「倫理」の第3問と同一で、設問は第2・3問からの抜粋。ただし、問1のみ「倫政」オリジナル。</p> <p>問1 「倫政」オリジナルの出題。董仲舒(とうちゅうじょ)を知らなくとも、著作の内容読み取り問題であるため、丁寧に読めば正解に到達可能。</p> <p>問2 倫理21と同一。①は市聖(いちひじり)と呼ばれた空也であり、②は慶滋保胤(よししげのやすたね)である。③は時宗の開祖であり捨聖(すてひじり)と呼ばれた一遍である。④源信は、『往生要集』を記し、観想念仏を説いた。</p> <p>問3 倫理23と同一。②は石田梅岩、③は契沖、④は安藤昌益の著作である。</p> <p>問4 倫理15と同一。①荀子は礼による統治を説いた礼治主義である。③四苦は生老病死であり、愛別離苦(愛する者と別れなければならない)は八苦の内容である。④問答法を実践したのはソクラテスである。</p> <p>問5 倫理24と同一。農業は、天道(自然の営み)と人道(人間の働き)から成り立ち、天地・君・親・祖先による恩に自らも徳をもって報いるという報徳思想を説いた。それを具体化したのが分度(経済力に応じた合理的生活)と推譲(儉約によって生じた余裕を他人に譲り、また将来に蓄えること)である。①は、天地の恩も自覚すべきであるから間違いである。③は、雑草などすべて生命を慈しむというのが間違いである。④は、植物を見習うという箇所が間違いである。</p> <p>問6 倫理26と同一。①は、柳田国男である。③は、折口信夫である。④は、田中正造である。</p>

第2問	問7	倫理 28 と同一①伝統的自然観が環境破壊をもたらしたとは記述されていない。②明治以降の近代科学の移入により、自然を法則的に捉えて開発するようになり、自然に対する敬意は薄れている。④各時代の自然観が、外来文化を受容することから自国文化の批判を通じて形成された、とは記されていない。
第3問		<p>倫理分野・リード文は「倫理」の第4問と同一で、設問は第2・4問からの抜粋。</p> <p>問1 倫理 16 と同一。(ア)パウロは、欲してもいない悪をなす人間が救われるのは律法ではなくて信仰によるという信仰義認説を説いた。(イ)アウグスティヌスは、パウロの信仰義認説を発展させ、人間には善をなす自由はなく、悪へと傾く自由しか持っていないと考えた。(ウ)イエスは山上の垂訓で「裁くな、裁かれないためである」と主張している。</p> <p>問2 倫理 30 と同一。①は、アダム・スミスの自由放任思想である。②は、マキャベリの道徳と政治を分離した考え方である。④は、ホッブスの社会契約説である。</p> <p>問3 倫理 12 と同一。ストア派の始祖ゼノンは、アパテイア(不動心)・自然に従って生きよ・世界市民主義(コスモポリタニズム)などを説いた。</p> <p>問4 倫理 32 と同一。「わが上なる星の輝く空(=自然法則)と、わが内なる道徳法則」は、『実践理性批判』の結びの言葉であり、墓碑銘ともなった。また、カントの『判断力批判』では、美的判断・崇高・合目的性などが論じられ、目的論的世界観が展開されている。</p> <p>問5 倫理 33 と同一。ゲーテからの引用文には「科学的な視点」(①)に関する言及はなく、また動物と植物の区別(③)にも触れていない。また、花と昆虫、花と露の玉、花と花瓶は「自然のあり方に反するもの」(②)であるとは考えにくく、「自然の有り様に従って」(④)のものであると考えられる。</p> <p>問6 倫理 35 と同一。①は、ルソーの文明社会批判論である。②は、キルケゴールの主体的真理説である。③は、デューイの創造的知性や民主主義的教育論である。</p> <p>問7 倫理 37 と同一。第四段落では、「想像力の働きは美の創造にとどまらない」で、「理性の分析とともに…現実と異なる理想を構築」するものであり、「現実を批判」することもでき、「現実社会と無縁ではな」い、とあるので、①の「社会的な問題を解決することには貢献できない」は間違いであり、③の「理性の助けを借りなければ役立つものではない」とも矛盾し、④の「過酷な現実であっても、想像力によりそこから離れて」いくものでもない。</p>
第4問		<p>政経分野・リード文は「倫理、政治・経済」オリジナル。設問は第1・第5問からの抜粋。</p> <p>問1 政経 02 と同一。④国会ではなく人事院。</p> <p>問2 政経 10 と同一。①裁判員と裁判官が合議によって事実認定と量刑を行うのが裁判員制度。</p> <p>問3 政経 06 と同一。2005年に所得収支の黒字が貿易収支の黒字を抜いた点を押さえているかがポイント。</p> <p>問4 政経 04 と同一。①認めていない。②③どちらも存在する。</p> <p>問5 政経 31 と同一。①先行させたのは経済統合。</p> <p>問6 政経 34 と同一。②経済難民や国内避難民は対象外。③国際赤十字はNGOである。④難民の地位に関する条約は1951年に採択。</p>

第5問		<p>リード文と設問は「政治・経済」の第3問と同一。</p> <p>問1 政経17と同一。①引上げではなく引下げ。</p> <p>問2 政経18と同一。A企業が他の企業に生産要素を提供することはある。</p> <p>問3 政経19と同一。②第I階級所得シェアは3.4%、第V階級所得シェアは50.1%である。</p> <p>問4 政経20と同一。①基準割引率および基準貸付利率（いわゆる公定歩合）は、ロンバート型貸出制度の下で、コールレートの上限となる金利である。ただし、②も明白に正しいとは言いきれない面がある。</p> <p>問5 政経21と同一。②所得の増大によって需要曲線が右にシフトすると判断できれば解答できる。</p> <p>問6 政経22と同一。③株主の権限の制約ではなく、拡充が主張されている。</p> <p>問7 政経23と同一。②日本郵政公社が民営化され、日本郵政グループとなった。</p>
第6問		<p>リード文と設問は「政治・経済」の第4問と同一。</p> <p>問1 政経24と同一。③皇位が世襲であることは憲法第2条、男系男子が継承することは皇室典範第1条に規定。</p> <p>問2 政経25と同一。②ここでの住民投票は、地方公共団体の議会が独自に条例を制定して実施するもの。</p> <p>問3 政経26と同一。③④各党の小選挙区での獲得議席数と、比例配分での獲得議席数を比較すればよい。</p> <p>問4 政経27と同一。C 明治憲法には内閣や内閣総理大臣についての規定はない。</p> <p>問5 政経28と同一。①AではなくB。②民主党ではなく自由民主党。④BではなくA。</p> <p>問6 政経29と同一。②③④は、法律を制定する国会や国会議員を選出する国民の判断を重視する旨の記述であることから後者の根拠となり、消去法で①と解答できる。</p> <p>問7 政経30と同一。①砂川事件において、最高裁判所は統治行為論を援用して憲法判断をしなかった。</p>